

令和5年度家庭訪問型子育て支援事業
(令和5年度宮古市提案型事業)

事業実施報告書

特定非営利活動法人
ふれあいステーション・あい

【実施期間】

令和5年4月1日～令和6年3月31日

【実施内容】

1. 講座の開催

a) 令和5年度訪問ボランティア研修会

日 時：令和5年12月16日

場 所：宮古市地域創生センター

参加者：訪問ボランティア6名

2. 運営委員会の開催

a) 令和5年度第1回運営委員会

日 時：令和5年8月25日

場 所：ふれあいステーション・あい

参加者：運営委員6名

b) 令和5年度第2回運営委員会

日 時：令和6年2月29日

場 所：宮古市山口公民館

参加者：運営委員7名

3. 講座等の受講・参加

a) こども家庭庁とともに、訪問支援のあり方を考える

主 催：特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン

日 時：令和5年7月20日

場 所：事務所内（オンライン）

参加者：オーガナイザー1名

b) Instagram 勉強会

主 催：特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン

日 時：令和5年9月29日
場 所：事務所内（オンライン）
参加者：オーガナイザー2名

c) 実践に学ぶ これからの地域づくりへのヒント
主 催：宮古市（市民生活部生活課 男女参画・協働推進係）
日 時：令和5年10月31日
場 所：市民交流センター
参加者：オーガナイザー1名

d) ホームスタートオーガナイザー養成コース研修
主 催：特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン
日 時：令和5年11月3、4、5、12日
場 所：3、4、5日／事務所内（オンライン）
12日／福島県福島市
参加者：オーガナイザー1名

e) いのちのおはなしワークショップ／支援者交流会
主 催：岩手県立児童館いわて子どもの森
日 時：令和5年11月13日
場 所：いのちのおはなしワークショップ／すくすくランド
支援者交流会／宮古市地域創生センター
参加者：オーガナイザー2名

f) ホームスタート北海道・東北エリア交流研修会
主 催：ホームスタート北海道・東北エリア協議会
日 時：令和5年11月23日
場 所：事務所内（オンライン）
参加者：オーガナイザー1名

g) 令和5年度 子育て・家庭教育相談担当者研修Ⅱ
主 催：岩手県教育委員会
日 時：令和5年11月28日
場 所：事務所内（オンライン）
参加者：オーガナイザー1名

h) 「利用家庭を増やす虎の巻」活用セミナー
主 催：特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン

日 時：令和6年1月15日
場 所：事務所内（オンライン）
参加者：オーガナイザー2名

4. 広報

- a) 広報先（対面による事業説明やチラシ設置・配布依頼、郵送・市担当課の文書箱を介しての依頼）

宮古市保健福祉部こども課、宮古市保健福祉部健康課、宮古市市民生活部生活課（宮古市市民相談室）、市民交流センター、宮古市立図書館、宮古市社会福祉協議会（宮古、田老、新里、川井）、宮古保健福祉環境センター福祉課、宮古児童相談所、ハローワーク（マザーズコーナー）、地域子育て支援センター／にこにこルームみやこ（小山田保育所内）、すくすくランド、のびっこクラブ（そけい幼稚園内）、ひよこクラブ（宮古ひかり内）、宮古病院地域医療福祉連携室、伊東産婦人科、豊島医院、川原田小児科医院、伊藤歯科医院、坂下歯科医院、各公民館（山口・千徳・宮町・磯鶏・鍬ヶ崎・中央分館・重茂・崎山・花輪・津軽石・田老・小田代・新里・刈屋・和井内）、児童館（高浜・田代・重茂）、保育所（小山田・佐原・千徳・崎山・津軽石・愛宕・花輪・山口・磯鶏・田老・新里・小国）、保育園（常安寺・宮古・いずみ・いずみ分園）、幼稚園（小百合）、認定こども園（宮古泉幼稚園・宮古ひかり・そけい幼稚園・あかまえこども園・さくらんぼ分園）、小規模保育（ククナ）、家庭的保育（つくしんぼ・ぶどうの木・ぽかぽかてらす・いちごハウス）、NPO法人みやっこベース、シートピアなあと、道の駅たろう、トマト&オニオン宮古店、大戸屋岩手宮古店、たらふく、ラポールヘア宮古店、宮古ドライビングスクール、ドコモショップ宮古店、ローソン宮古近内店、健康堂薬局小山田店、眼鏡市場宮古店、スーパーマーケット玉木屋、マリンコープドラ、ベルフ西町、コープ西ヶ丘、薬王堂千徳店

- b) 広報誌等への掲載

◎広報みやこ（令和5年6月1日発行にホームスタートの紹介）
◎あい通信49号（令和5年7月25日発行にホームスタートの紹介）
◎あい通信50号（令和6年2月1日発行にホームスタートの紹介）

- c) その他

◎宮古市保健福祉部健康課よりチラシ配布

①出生届提出 ②母子手帳交付 ③赤ちゃん訪問 ④1歳児健康相談 ⑤2歳児健康相談 ⑥3歳児健康診査

◎宮古市ファミリーサポートセンター会員登録者に事業紹介

◎法人ホームページで事業紹介 ※添付資料1を参照

◎Instagramでの情報発信

◎すくすくランドにて利用者に事業紹介とチラシ配布（6月3日）

◎子育て支援員研修受講者にチラシ配布（10月2日）

◎ハピママコープ・宮古企画【バレトンレッスン】参加者に事業紹介（1月19日）

◎いわて生協宮古コープ企画【ゴールドケア！】参加者に事業紹介（1月26日）

◎宮古保育会所長会議出席者に事業紹介（2月20日）

5. 利用状況

a) 利用件数：13件

訪問回数：76回

番号	期間	令和5年度中の訪問回数	R6年3月31日時点の状態	利用のきっかけ
①	04/01～04/25	2	通常終了	ファミサポ
②	04/26～07/31	7	通常終了	ファミサポ
③	05/12～06/29	7	通常終了	ファミサポ
④	05/16～07/06	7	通常終了	つどいの広場
⑤	06/28～10/05	6	訪問終了	ファミサポ
⑥	08/24～10/13	6	訪問終了	ファミサポ
⑦	08/29～10/12	7	訪問終了	赤ちゃん訪問
⑧	09/19～11/08	7	訪問終了	こども課
⑨	10/12～12/12	6	訪問終了	ファミサポ
⑩	11/08～12/14	4	訪問終了	こども課
⑪	01/18～	6	訪問中	ファミサポ
⑫	01/29～	6	訪問中	こども課
⑬	02/22～	5	訪問中	赤ちゃん訪問

【事業開始時からの合計】 利用者数68 訪問回数418回

b) 相談件数：37件

c) 訪問終了後などフォロー件数：54件

d) 訪問ボランティアとの打ち合わせ・報告・振り返り等の件数：65回

6. 効果

a) ニーズとそれにともなう最終評価（訪問終了分のみ）

	ニーズ内容	ニーズ数	達成及び一部達成	変化なし	充足度(%)
1	孤立感の解消	6	6	0	100
2	子育てサービスの利用方法を知る	3	3	0	100
3	親自身の心の安定	5	5	0	100
4	自尊感情や自己肯定感	1	1	0	100
5	親の身体の健康	0	0	0	-
6	子どもの身体の健康	4	4	0	100
7	子どもの心の健康	6	6	0	100
8	子どもの問題行動の減少	1	1	0	100
9	子どもの成長・発達を促す機会を作る	7	6	1	86
10	家族間のイライラの減少	0	0	0	-
11	家事の上達	4	4	0	100
12	家計の悩みの軽減	0	0	0	-
13	多子の悩みの軽減	2	2	0	100
14	その他	0	0	0	-
	合計／平均充足度	39	38	1	97

b) 利用者の感想

◎子どもがボランティアさんに遊んでもらって、特に長男は毎回楽しみにしていました。長男と遊んでもらっている間に、私は次男の相手ができることができました。

◎大人と会話ができて安心しました。

◎つどいの広場に一緒に行ってもらい、様子が見られてよかったです。階段があったので、ボランティアさんがいてくれて助かりました。

◎子どもに接するのは親だけだったし、子どもの人見知りもひどくて気になっていたが、ボランティアさんが来てくれて、親以外の人と接する機会がくれたことが良かったです。

◎一人で子ども2人を連れていくと、片付けまでできるか不安でした。一緒に行ってもらってよかったです。

◎ボランティアさんに同行してもらって外出したことで、一人でもできそうだとわかりました。その後は一人でも出かけられるようになりました。

◎話を聞いてもらって、心が軽くなりました。孤独感が解消できました。

◎つどいの広場に行くきっかけができました。その後は一人でも行けるようになりました。

◎話を聞いてもらって、前向きになれました。

- ◎子どもにたくさん話しかけてもらって、よく遊んでもらいました。
- ◎晴れている日に都合を合わせてもらったおかげで、公園でたくさん遊べました。
- ◎下の子を見ていてもらえたので、上の子と向き合って遊ぶことができました。
- ◎子どもを見守っていただいたおかげで、家事がはかどりました。
- ◎ボランティアさんと打ち解けて遊べました。2人の行きたい場所が違って、ボランティアさんがいるおかげで対応できました。
- ◎いろいろとお話できてよかったです。
- ◎やりたい家事ができました。
- ◎泣かれた時、オムツを替えミルクをあげても泣かれると辛い、ボランティアさんがいてくれると心が安定しました。
- ◎子どもの成長について話せました。
- ◎外で遊べました。子どもの見守りをしてもらいました。
- ◎おもちゃを作ってもらい、そのおもちゃであそべました。

c) 考察

- ◎本事業の利用をきっかけに元気になり、前向きに変化していったことは、ビジターの声掛けなどにより自己肯定感を持てたからではないか。継続的に訪問が受けられること、そのことでボランティアと信頼関係が築けることは、利用者の心の安定に繋がっていると考えられる。
- ◎本事業でボランティアが同行したことで、その後は母だけで子どもを連れて出かけられるようになったケースがあった。困っていること、不安に感じていることをピンポイントで支援し、実際にやってみたことで、利用者の気持ちに変化が起き、自ら外出してみようと思えるようになったことは、ご本人の力を引き出すエンパワメントとなり、本事業の目的が達成できたものと考ええる。
- ◎つどいの広場や公園などに出かけたことは、同世代のお子さんを見たり、他の親御さんや施設の職員と話す機会となり、地域と繋がるきっかけづくりができたと考ええる。
- ◎前年度と比べて、利用者数が6.5倍になった。コロナ感染症が5類になった頃から利用が増加していることから、分類の移行により利用者の意識が変化したことが伺える。
- ◎リピーターの利用が多かった。複数回利用する方がいることは、使って良かった、助かったと捉えている方が一定数いるものと考ええる。このことは、振り返りの際に聞き取りしている最終評価の結果からも読み取れる。
- ◎実家が県外にある方の利用が多かった。ビデオ通話などで遠くにいる家族とコミュニケーションをとっている方でも、画面越しではなく対面で話し

たい、外遊びを手伝ってほしい、宮古について聞きたい、などのニーズがあった。

◎行政が積極的に利用を勧める方は、比較的問題を多く抱えていることが多いが、対応力を持ったボランティアのおかげで本事業の効果を発揮できている。

7. 体制

a) 担当職員：2名

b) 訪問ボランティア：23名

c) 運営委員：7名 （市こども課子育て支援係長、市健康課母子保健係長、宮古保育会会長、市社会福祉協議会地域福祉課課長、当法人理事長、事業担当職員）